

Ⅰ部. 子どもの生活実態および子育てに関する調査

第1章 アンケート調査概要

今回、福島県から「こどもの貧困に関する実態調査」の委託を受け、子どもの貧困に関するアンケート調査を行うこととなった。子どもの貧困というテーマではあるが、こどもの生活の様子、保護者の方々の状況や思いを伺うために、アンケート調査そのものは、「子どもの生活実態および子育てに関する調査アンケート」とし、質問を組み立てた。子どもの貧困は、経済的な要素だけではないという認識のもと、子ども全般の生活に潜む「貧困」に相当する様子を明らかにするねらいもあった。

子どもという対象は0歳から18歳までと、実は広い年齢層にわたる。過去の子ども対象の調査では、一定の地域、一定の年齢（学年）に焦点化し、典型的に行うものが多かったが、今回の調査では、家庭生活を送るすべての年齢層のお子さんを対象とし、それらのお子さんひとりひとりの生活の様子がうかがえるような設問の工夫をしている。小学生のA君、中学生のBさん、高校生のCさんといった「個」に対するデータも取り込めるところが特徴となる。

そして、調査項目は、内閣府の「子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業における実態調査の調査項目について」及び先行する調査アンケート等を参考にしながら作成した。具体的には「お子さん及び世帯の状況」「世帯の経済状況」「お子さんの生活状況や家族とのかかわりについて」「子どもに関して利用したことのある公的機関・制度」「子育て全般について心配なこと、困っていること」、そして前段で述べたように、子どもさんひとりひとりの個別の状況をたずねる質問を設けた。また、具体的かつ正直な思いをいただきたいと思い、いくつか自由記述の質問を設けた。アンケートそのものは無記名記入でお願いした。

結果として質問が多くなり（54問）、回収率が心配されたが、福島県全域での「子どもの貧困」調査が初めてということもあって、アンケート配布の協力をすべての市町村にさせていただき、県民の皆様には広く協力をお願いすることとした。

（1）調査方法

アンケート配布対象は、児童扶養手当受給世帯、準要保護教育援助受給世帯、生活保護受給世帯に加え、「子どもの貧困」問題は経済的に苦労がある家庭だけのものではないと思い、それ以外の家庭（一般家庭）も対象とした。そして指定した人数を各自治体等で無作為に抽出していただき、郵送での調査を行った。

※アンケートの郵送にあたり、すべての市町村・福祉事務所にご協力いただけるかお伺いをしました。その中から、調査対象者の抽出が可能との申し出をいただいた自治体で実施させていただきました（協力を申し出ていただいたにもかかわらず、調査進行上、当方の事情で失礼をさせていただいた自治体もあります。ご協力の申し出については感謝いたします）。

(2) 調査対象数

《協力自治体と郵送数》

	市町村名	一般世帯	児童扶養手当	準要保護教育援助受給	生活保護
県北	福島市		30		40
会津	会津若松市	200	30	40	30
県中	郡山市	200	30	40	40
いわき	いわき市	200	30	40	40
県南	白河市	200			
県中	須賀川市	200	30	40	20
会津	喜多方市				5
県北	二本松市		30		
県中	田村市		30		8
相双	南相馬市	200	30	40	10
県北	本宮市		30	30	6
県北	桑折町	60	10	50	県北保健 福祉事務所
県北	川俣町	60	10	10	
南会津	只見町		10		
南会津	南会津町		10	1	1
会津	北塩原村	60	10	7	県中保健 福祉事務所
会津	西会津町	60	10		
会津	猪苗代町		10		
会津	会津坂下町	80	10	10	10
会津	湯川村		10	8	県南保健 福祉事務所
会津	三島町	86 (全数)	6	1	
会津	昭和村	53	3		
県南	西郷村	80	10		18
県南	中島村		10		会津保健 福祉事務所
県南	矢吹町		10		
県南	棚倉町	80	10	10	
県南	矢祭町		10		6
県南	塙町	70	10		南会津保 健福祉事 務所
県南	鮫川村		10	10	
県中	石川町		10		
県中	浅川町	60	10		2
県中	古殿町		10		相双保健 福祉事務 所
県中	三春町		10	30	
県中	小野町		10		
相双	広野町	60	10		2
相双	檜葉町	60	10		
相双	葛尾村	60	9		
相双	新地町		10		
	計	2,143	528	367	238

《方部内訳》

一 般		児童扶養 手当		準要保護 教育援助		生活保護		計	総計
市部	1,200	市部	270	市部	230	市部	199	699	1,899
郡部	803	郡部	268	郡部	137	郡部	39	444	1,247
計	2,143	計	538	計	367	計	238	1,143	3,286
内訳		内訳		内訳		内訳			
県北	120	県北	110	県北	90	県北	47	247	367
県中	460	県中	150	県中	110	県中	78	338	798
県南	430	県南	70	県南	20	県南	18	108	438
会津	513	会津	89	会津	66	会津	41	196	709
南会津	0	南会津	20	南会津	1	南会津	2	23	23
双相	380	双相	69	双相	40	双相	12	121	501
いわき	200	いわき	30	いわき	40	いわき	40	110	310
計	2,143	計	538	計	367	計	238	1,143	3,286

《回答者住まいの自治体一覧》

福島市 二本松市 本宮市 いわき市 会津若松市 喜多方市 須賀川市 郡山市 田村市
 南相馬市 白河市 桑折町 北塩原村 三島町 昭和村 広野町 棚倉町 会津坂下町 浅川町
 塙町 西郷村 西会津町 三春町 川俣町 葛尾村 中島村 鮫川村 西郷町 石川町 只見町
 新地町 矢祭町 小野町 湯川村 玉川村 矢吹町 会津美里町 南会津町 猪苗代町
 江戸川区 相模原市 新潟市 以上 43 市町村

(3) 回収率

全数 3,286 世帯配布 804 世帯回収 (24.5%)

【うち有効回答票：798 世帯】

※住んでいる市町村のみの回答だったケースや、既に子どもさんが自立をしたため子ども不在の世帯は、集計対象から除いた。

質問が多いアンケートであったにもかかわらず、約 1/4 のご家庭から回答いただいたことに感謝したい。予定より配布数を上乗せしたが、800 世帯回答があればと期待していたので、ほぼ想定通りとなった。また、児童扶養手当受給世帯と生活保護世帯の合計の回収率は、32.6%に上る。関心が一般世帯より高いことがうかがえる。

(4) 取り扱い

このアンケートを通して委託先である、福島県にデータを付して報告し、今後の県政並びに民間の活動に活かすための資料とする。

また、回収調査票に関しては、5 年間の保存を経て廃棄の予定である。